

Exercise A-1 Put the words in the correct order.

(1) 私たちの先生はとても優しいと思う。

解答 (I think our teacher very kind).**別表現** I think that our teacher is very kind.

■ 「OをCだと思う」は(think+O+C)で表します。(先生(our teacher)=とても優しい(very kind))のように(O=C)の関係が成り立ちます。

□ (think that SV)でも同じ意味を表すことができます。目的語に節がくるこの形のほうが一般的です。

(2) 彼はエンジンをかけっぱなしにしていた。

解答 (He left the engine running).**別表現** He kept the engine running.

■ (SVOC(=分詞))の文になります。「(忘れて/放置して)OをCのままにしておく/させておく」は(leave+O+C(=分詞))で表します。「O(目的語)が~している」なので現在分詞 running になります。動詞 run には「(機械が)動く」, 「(液体が)流れる」などいろいろな意味があります。

□ 「(何らかの理由で意図的に)OをCのままにする」場合は、(keep+O+C(=分詞))で表すことができます。

(3) 昨日、先生にスピーチの原稿をチェックしてもらった。

解答 (I had my teacher check) my speech manuscript yesterday.**別表現** My teacher checked my speech manuscript yesterday.

■ 「先生に原稿のチェックをしてもらう」は(have+O(人)+do)で表します。

□ 「先生が私の原稿をチェックした」と考え、My teacher を主語にして表します。

(4) 母は真夜中に激しい揺れを感じた。

解答 (My mother felt the earth shake badly) in the middle of the night.**別表現** My mother felt a strong quake [shake] at midnight.

■ 「激しい揺れを感じた」→「地面がひどく揺れるのを感じた」と考えて、(知覚動詞 feel+O+do)で表します。

□ 他動詞 feel 「(物・痛み・地震など)を(体で)感じる」を用います。「激しい揺れ」→「強い地震[揺れ]」(a strong quake[shake])で表します。

Exercise A-2 Complete the following sentences.

(1) 彼女は娘にトモミという名前をつけた。

解答 She named her daughter Tomomi.

■ 「OをCと名づける」は(name O+C)で表します。(彼女の娘(her daughter)=トモミ(Tomomi))の関係が成り立ちます。

(2) 彼は私を30分ほど待たせた。

解答 He kept me waiting for about thirty minutes.**別表現** I was kept waiting for thirty minutes by him.

■ 「OをCのままにする」は(keep+O+C)で表します。「O(私)が待っている」という関係からCは現在分詞(waiting)で表します。

□ 「私は彼に40分ほど待たせられた」と考え、**解答**を受動態で表します。(→35)

(3) あなたは英語で自分の言いたいことを伝えられますか。

解答 Can you make yourself understood in English?**別表現** Can you express what you want to say in English?

■ 「自分の言いたいことを伝える」→「自分自身を理解してもらおう」と考えます。(make oneself understood)で表します。

□ 「自分の言いたいこと」は関係代名詞 what を用いて(what you want to say)と表します。(→46)

(4) 彼はボタンの1つが外れていることに気がついた。

解答 He noticed one of his buttons unfastened.**別表現** ① He found that one of his buttons was unbuttoned.

② He noticed that one of his buttons had come off.

■ 「OがCだと気づく」は(notice+O+C)で表します。(ボタン=外されている)という受動の状態なので、Cはunfastened(過去分詞)となります。

① 「…だと気づく」は(find [notice] that SV)で表します。(ボタン=外れている)という状態を形容詞 unbuttoned を用いて、SVCで表します。

② 「(ボタンなどが)外れる」はcome offで表します。「気がついた」時よりも「外れた」時のほうが前のことなので、過去完了形で表します。(→23)

Exercise B

Put the following Japanese sentences into English.

1. ぐっすり眠ると、すっきりしますよ。

- 解答 ① A sound sleep will make you refreshed.
 ② If you sleep well, you will feel better.
 ③ You will feel better if you sleep well.
 ④ If you have a sound sleep, you will feel better.
 ⑤ You will feel better after a good night's sleep.

① 「ぐっすり眠る」→「健全な睡眠」と考えて、無生物 A sound sleep を主語にします。「ぐっすり眠ることがあなたをすっきりさせるでしょう」と考えて、「O を C にする」(make+O+C)の形で表します。

②③ 「ぐっすり眠ると」→「(あなたが)もしぐっすり眠れば」と考えて、if を用いた条件を表す副詞節で表します。条件を表す副詞節は文末にも置くこともできます。(→57・4)

④ 「ぐっすり眠る」sleep well を、名詞 sleep を用いて(have a sound sleep)で表します。

⑤ 「ぐっすり眠ると」→「よい睡眠の後には」と考えて、「～の後に」(after+名詞)で表します。(→71)

生徒の解答

× *A good sleep will feel you much better.*

feel には「O を C に感じさせる」という意味はありません。A good sleep を主語にした場合は、解答例①のように使役動詞 make を用いて表します。

2. 彼女は車のドアの鍵をかけ忘れてままだにしていた。

- 解答 ① She left the door of her car unlocked.
 ② She forgot to lock the door(s) of her car [her car door(s)].

① 「車のドアの鍵をかけ忘れてままだにする」→「車のドアの鍵がかけていないままだにしている」と考えて、「O を C のままだにする」(leave+O+C)で表します。(the door of her car=unlocked)となります。

② 「～するのを忘れる」(forget to do)で表します。(forget doing)は「～したことを忘れる」の意味になるため、(forgot locking)では「鍵をかけたことを忘れた」となり意味が異なります。

生徒の解答

× *She forgot locking the doors of her car.*

forget doing は「～したことを忘れる」という意味を表すため、「彼女が車のドアに鍵をかけたことを忘れていた」という内容になってしまいます。locking → to lock と表すのが正しいです。

3. 両親は私に1日1時間だけゲームをやらせてくれる。

- 解答 ① My parents let me play TV games for just an hour a day.
 ② My parents allow me to play video games for just one hour per day.
 ③ My parents only let me play video games for an hour a day.
 ④ My parents will only let me play video games one hour each day.

① 「両親は私がゲームをするのを許す」と考えて、(let O do)で表します。

② 「O が～するのを許す」(allow+O+to do)で表します。

③④ 「～だけ」only で動詞を修飾として用いています。

生徒の解答

× *My parents let me to play TV games for an hour a day.*

使役動詞 let は(let O do)の形で表します。to play → play と表すのが正しいです。

4. 昨夜遅くに、誰かがドアをノックするのが聞こえた。

- 解答 ① I heard someone knock on the door late last night.
 ② I heard someone knocking on the door late last night.
 ③ I noticed someone knock [knocking] on the door late last night.
 ④ I found that someone knocked on the door late last night.
 ⑤ I found that there was a knock on the door late last night.

① 「ノックが聞こえた」の主語は「私」と考えられます。「O が～するのを聞く」は(hear+O+do)で表します。副詞句 late last night は文頭に置くこともできます。

② 「O が～しているところを聞く」は(hear+O+doing)で表します。(hear+O+do)が「(一部始終を)聞く」という意味になるのに対して、(hear+O+doing)は「～しているところを(ある一時点を)聞く」という意味になります。

③ 「誰かがノックするのに気づいた」と考えて、「見たり聞いたりして気づく」という意味の動詞 notice を用います。

④ 「(私は)聞こえた」→「(私は)わかった」と考えて、(I found (that) SV)で表します。that 節中は「誰かがノックした」someone knocked on the door と表します。

⑤ 「誰かがドアをノックした」を(there is[are]～)で表します。

生徒の解答

× *I heard someone to knock the door late last night.*

知覚動詞の後ろは原形か現在分詞か過去分詞で表します。to knock → knock が正しいです。